

■ 病院概要

標榜科

内科、外科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、循環器内科、消化器内科、泌尿器科、腎臓内科、心臓血管外科、糖尿病内科、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

専門外来

もの忘れ外来、骨粗鬆症外来、腹膜透析外来、不整脈外来、弁膜症外来

病床数(全112床)

- ・一般病床／27床
- ・地域包括ケア病床／45床
- ・回復期リハビリテーション病棟／40床



■ 関連施設

● 訪問リハビリテーション
● 通所リハビリテーションセンター
コンパス
TEL.0964-53-1633
FAX.0964-53-1650

● 訪問看護ステーション
みすみ
TEL.0964-41-2101
FAX.0964-53-2121
(居宅・訪看共通)

● 居宅介護支援センター
みすみ
TEL.0964-53-2120
FAX.0964-53-2121
(居宅・訪看共通)

● 健診センター
TEL.0964-53-1617
FAX.0964-53-1651

患者さんの権利と義務

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

理念と基本方針

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。
「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人

恩賜財団 済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1

TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら

<https://sk-misumi.jp>



発行／令和7年9月 社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 広報委員会

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

69 Take Free.
2025.9



みすみ港
まつり

病気のはなし「肥満と大腸がん」

在宅医療(訪問診療)のご案内

〔特集〕健康フェスタ開催

みすみ病院のできごと／部署紹介〔訪問看護ステーションみすみ〕

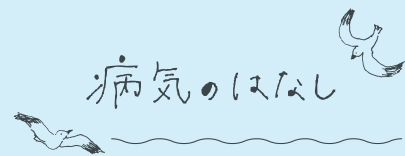
病院概要／関連施設



社会福祉法人

恩賜財団 済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌／発行者 吉岡 正一



肥満と大腸がん



消化器内科
村岡正武

○ 人類が肥満になるようになった理由

人類の歴史は、長い間「飢餓」との戦いでした。そのため、私たちの体は少ないエネルギーで生き延び、エネルギーを蓄える仕組みを発達させてきました。しかし逆に、現代のように食べ物が豊富にある「飽食の時代」において、余分なエネルギーを効率的に体の外に出す仕組みがありません。その結果、肥満になる人が増え、それが原因で糖尿病や高血圧などの生活習慣病、さらにはがん（悪性腫瘍）が増えるという深刻な問題が起きています。

近年、日本でも大腸がんになる人、そして大腸がんで亡くなる人が増えています（注1）。これは、運動不足や食生活の欧米化による肥満が大きな原因と考えられています。

○ 肥満と大腸がんのリスク

これまでの多くの研究から、肥満が大腸がんのリスクを増やすことが示されています。国際的な研究機関である世界がん研究基金（WCRF）と米国がん研究協会（AICR）も、肥満と内臓脂肪型肥満が大腸がんのリスクを確実に上げる要因だと指摘しています。肥満による大腸がんのリスク上昇は、男性で1.5～2.0倍、女性で1.2～1.5倍と、男性の方がやや高い傾向にあります。

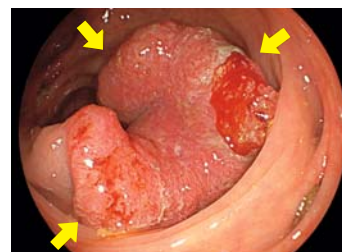
もう少し詳しく言うと、BMIが高くなるにつれて大腸がんになるリスクが上がります。具体的にはBMIが2増えると、大腸がんのリスクが7%増えるとされています。また、大腸は肛門から順番に直腸、結腸、盲腸ですが、直腸より結腸、特に右側の結腸よりも左側の結腸で肥満との関連が強いことが分かっています。

○ 日本人における肥満と大腸がんのリスク

注目すべきは、アジア人（日本人を含む）の場合、BMIが23～25の間でも大腸がんのリスクが有意に上昇することが分かった点です（注3）。これは、アジア人は同じ体脂肪量でも欧米人よりBMIが低く、また、糖尿病や心臓病のリスクもBMI23～24で上がることが理由として挙げられています。つまり、日本人ではBMI23から大腸がんのリスクが増え始める可能性があると考えられます。

肥満かどうかの指標

肥満かどうかを測る指標として、BMI（Body Mass Index：体格指数）がよく使われます。BMIは体重(kg)を身長(m)の二乗で割ります。例えば、体重65kgで身長165cmの人のBMIは、 $65 \div 1.65^2 = 23.9$ になります。世界保健機関（WHO）ではBMIが30以上を肥満としていますが、日本では日本肥満学会がBMI25以上を肥満と定義しています。日本の状況を見ると、特に男性で肥満の人が顕著に増えています。過去30年でBMI25以上の男性は2倍に増えました（注2）。



○ BMIより重要な内臓脂肪量

近年では、BMIよりも内臓脂肪量が大腸がんのリスクとより強く関連するという研究が増えています。内臓脂肪量が多い内臓脂肪型肥満の指標としては、ウエスト周囲径（おへその位置の周囲径）が使われます。ウエスト周囲径が男性で85cm以上、女性で90cm以上の場合、内臓脂肪型肥満が疑われます。

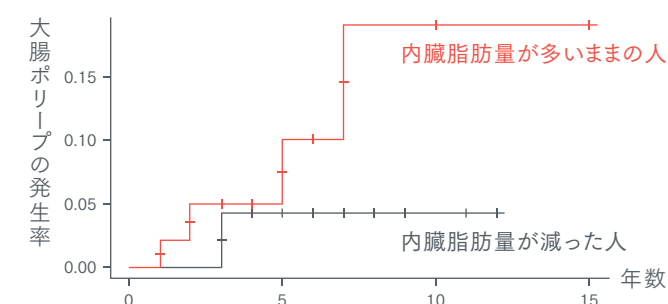
研究によると、ウエスト周囲径が2cm増えるごとに、大腸がんのリスクが4%増えると報告されています（注4）。また、CTスキャンで内臓脂肪の量を正確に測ることで、大腸がんや大腸がんになる前の大腸ポリープ（大腸腺腫）との関連性が示されています。内臓脂肪が多いとなぜ大腸がんに関連するのかについては、内臓脂肪から分泌される「アディポサイトカイン」という物質が、がんの発生や増大に関係している可能性が考えられています。

○ やせると大腸がんのリスクは下がるのか

これまで説明したように肥満、特に内臓脂肪が多いと大腸がんのリスクは高いですが、太っていた人がやせた場合にはたして大腸がんのリスクは下がるのでしょうか。2007～2022年の期間に済生会熊本病院の予防医療センターを受診した人の中で内臓脂肪量が多かったが減った29人と、内臓脂肪量がずっと多かった58人を比較しました。この期間に大腸がんになった人はいませんでした。

しかし、大腸がんになるとされている大腸ポリープ（前癌病変）の発生率には差がありました（図）（第63回日本消化器がん検診学会で報告済）。やせると大腸ポリープはできにくくなり、その結果大腸がんにもなりにくいと考えられます。

〈図〉内臓脂肪量が多いままの人と減った人の大腸ポリープ（癌になるポリープ）の発生率の違い



まとめ

大腸がんの死亡者数は年々増えており、厚生労働省によると令和4年の死亡数のうち大腸がんの死亡者数は年間約5万3千人で、がん死亡数の中で2位となっています。大腸がんの予防が急務となっています。BMIやウエスト周囲径で肥満と思われる人は大腸がんのリスクが高いと考えられますので、大腸カメラを受けることをお勧めします。また、大腸がんの予防のために肥満の人はやせることが大切です。



〈参考文献〉

注1. 厚生労働省：人口動態統計2023年

注2. 厚生労働省：国民健康・栄養調査結果の概要2023年

注3. Obes Rev 2010

注4. Nat Rev Cancer 2004



「自分らしく生きる」「自分らしい人生を送る」

在宅医療（訪問診療）のご案内

はじめに

誰にでも老いはやってくるものです。病気もいつ発症するかはわかりません。そうなったときにも、「自分らしい生き方」「自分らしい人生を送りたい」不安のない安心できる生活を、これまでと同じ場所・地域で送りたいと望むのは当たり前のことです。これまで、家族を、地域を、日本を支えてきた皆様を、日本の保険診療は在宅医療という形で支えようとしています。

済生会みすみ病院はこれまで、救急医療、回復期リハビリ医療を地域の皆様に提供して皆様の生活を支えてきました。こうした日々の診療を送る中で、高齢者の1人世帯、2人世帯の皆様の中に、自分で運転できない、通院のたびに離れて暮らす家族へ手伝いを依頼する、感染への恐れ等で人が多い場所を避けたいといった理由で病気の治療をためらっていらっしゃる住民の方々を多数経験してきました。また、普段は高血圧や糖尿病の治療程度で運転でも何でもできるが、心臓や脳の急性疾患にかかったときにすぐに駆け付けてもらえる、救急外来に受診できるといった安心感が欲しいという方もいらっしゃるでしょう。

日本人の2人に1人はがんにかかる時代です。たとえがんになっても、治療後や再発後に自宅で過ごしたいと思うことでしょう。こうした、自分らしく、自由に、自宅で今まで通りの生活を送りたいという皆様方の声にお応えするのが在宅医療です。皆様方の思いをあきらめることはありません。済生会みすみ病院は、今までも行ってきた在宅医療に今後さらに力を入れたいと考えております。

2025年4月 院長 吉岡正一



訪問診療について

-「訪問診療」とは

訪問診療は、診療計画に基づいて医師が患者さんのご自宅に出向き、定期的に行う診療です。当院では、患者さんの病状に応じて、月1～2回程度の訪問診療を計画的に実施いたします。

-「往診」とは

往診は、病状が変化したとき、患者さんやご家族の求めに応じて、医師がご自宅に出向いて臨時的に行う診療のことです。状態の急変時や、高熱・嘔吐・痛みなどの症状に、定期的な訪問診療以外で対応が必要な場合に実施します。

訪問診療を行っている患者さんには、24時間いつでも病院スタッフと連絡をとることができる連絡先をお伝えします。ご連絡を受けて、状況を判断した上で、往診もしくは救急外来受診の対応を行います。

対象となる方

基本的には、ご希望される方すべてが対象になりますが、以下のような方がご利用されています。



- 1 適当な交通手段がなく、ご家族などの介助が必要で、ひとりで通院困難な方
- 2 最後まで自宅で過ごしたい方、緩和医療・在宅看取りを行いたい方（他にかかりつけの医療機関がある方で、当院へ引き継ぎを希望される方を含みます）
- 3 病気があっても、入院よりもご自宅での療養を希望する方
- 4 人工呼吸器・在宅酸素・点滴・中心静脈栄養・経管栄養などの医療的管理が必要な方
- 5 医療機関へ受診するのをためらっている方
- 6 他にかかりつけの医療機関がある方で、当院で専門診療を希望される方

訪問診療を受けることの利点

みすみ病院ならではの利点

- 24時間いつでも受診できる救急外来があり、必要時には入院が可能であること
- CT、MRI、超音波などの最新の医療機器が揃っており、必要なときに24時間利用可能なこと
- 10数名の脳、心臓、呼吸器、消化器、糖尿病、内科、外科といった専門医が充実していること
- 訪問診療、訪問看護、訪問・通所リハビリ、ケアマネジャーなど、多数の専門職種のスタッフが同じ病院内にいたため、スムーズな連携のもと在宅医療の支援ができること
- 台風接近時の一時的な避難や、介助者となるご家族のサポート・休養を目的とした「レスパイト入院」（一時的入院）ができること

その他の利点

- 患者さんの交通費負担がありませんので、バス、タクシー、自家用車の費用がかかりません。
- あらかじめお約束した時間にご自宅にお伺いしますので、待ち時間がありません。いわゆる「3時間待ち、3分診察」といったことが起きませんので、待ち時間のストレスがありません。ただし、交通事情や診療事情により、訪問時間に多少のズレは生じます。

費用について

訪問診療は健康保険が適用されます。患者さんがお支払いする負担額の目安は以下の通りです。

※処置や検査、往診などを行う場合は、別途費用が加算されます。

患者さんの負担額

1割負担	約4,000円（月1回訪問） 約6,500円（月2回訪問）
2割負担	約8,000円（月1回訪問） 約13,000円（月2回訪問）
3割負担	約12,000円（月1回訪問） 約19,500円（月2回訪問）

訪問診療の欠点

外来通院のときよりも、皆様方の金銭的負担はやや多くなります。ただし、先に述べたように交通費がかかりません。また、お薬代も含まれています（一部のお薬を除く）。

お薬について

訪問診療の際に、必要な分のお薬をお届けします。薬剤師による厳密な管理が必要なお薬がある場合（血液を固まりにくくする薬〈抗血栓薬〉など）は、近くの調剤薬局からお薬をお渡しすることもあります。この場合は調剤薬局に診療費とは別にお薬代の支払いが必要です。



お問い合わせ先

TEL. 0964-53-1611

（済生会みすみ病院）

自動音声 ②受付・会計・予約

「訪問診療を希望する旨」を電話でお伝えください。関係スタッフがご利用までの流れをご説明します。





2025 健康フェスタ

つながる健康

広がる笑顔

カラダにいいことを見つけよう!



2025.10.26日 AM10:00-PM3:00
in 済生会みすみ病院

楽しい!



ためになる!

様々なイベント!

今回は装いを新たに開催!

大好評だった各種体験コーナー、健康づくり講演会、ステージイベントも計画中♪

ボランティアスタッフ募集中!

運営のお手伝いをしてくれるボランティアスタッフ大募集!

病院や医療に興味がある学生さん、イベント運営を間近で見たい方、地域を盛り上げたい方など。

(ボランティア証明書発行可)



地元のお店や
人気のキッチンカーも
多数出店予定!



◎お問い合わせ

0964-53-1611

(済生会みすみ病院)

みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL



みすみ港まつり

7月26日(土)三角町の三角東港で港まつりが開催され、当院から救護スタッフの派遣と踊りパレードへ参加しました。

パレード参加前に、病院寮のトライコートで踊りの練習を行い、冷えた飲物と軽食をみんなで楽しみました。パレードではピンクの撫子法被を身につけ、10月に開催する健康フェスタをアピールするため新たに作成した『のぼり』を掲げて、暑さに負けずに楽しく踊ることができました。

パレード後は海上花火大会です。夜空と水面に半円で開花する水中花火があり、幻想的な花火がとてもきれいでした。

地域交流推進委員会



部署紹介★

訪問看護ステーションみすみ

地域の皆様、スタッフの方々に
信頼していただける
訪問看護を目指して



訪問看護ステーションみすみは、2023年10月1日に開設しました。“住み慣れた地域で安心して過ごせるようサポートします”をキャッチフレーズに宇城市三角町、宇土市網田地区、上天草市大矢野町・松島町在住の方々を対象に訪問しています。皆様のご協力もあり、少しずつですが利用者が増えています。地域住民、スタッフの方々に、信頼していただける訪問看護を目指し、尽力していきます。今後とも、よろしくお願いします。

